

北信の地域課題

JC理事長語る

飯山駅前で会合

北信地方の青年会議所（JC）理事長らが飯山市に集まり、新型コロナウイルス収束後の活動や地域課題、会員減少の現状と対策などを考えた。

集まったのは、長野（長野市）、須坂（須坂市）、中野（中野市）、南長野（長野市）、みゆき野（飯山市）の理事長。感染対策で会合は北陸新幹線飯山駅前で行った。



飯山駅前で話す北信地方の

JC理事長ら

長野JCの中川大三さん（39）は、善光寺御開帳で「人の往来が戻り、長野に来てもらった機を捉えて活動したい」。南長野JCの宮尾祐介さん（39）は「御開帳の人出を篠ノ井などにどう呼び込むか、地域の人と協力したい」と話した。

須坂JCの宮沢智史さん（40）は、市街地などで空き家が増えているとし、働く若者を中学生向けに紹介する冊子を配るなど「若者が帰ってくるような街にしたい」。中野JCの清野友之さん（37）は、地域の習い事を体験できる催しや高校生向けの職業体験など「どういう仕事が自分に向いているのか考えられる場をつくりたい」とした。

みゆき野JCは正会員数が8人と過去最少。鷲森秀樹さん（40）は子どもや青少年向けの取り組みが大事とし、「JCはチャレンジできる場。持続可能性のある活動にしていきたい」と話した。